

トリック 3D アート見積項目

■トリック 3D アート企画構成

■トリック 3D アートシミュレーション制作

3Dソフト内で、実寸を入力し具体的にどのように見えるかビジュアルで確認ができます。実寸の壁面、床面、ビューポイントを設定し、トリック 3D アートの絵が伸びた具合等が確認できます。ビューポイントからどう見えるのか確認できます。

■デザイン案スケッチ

鉛筆画、photoshop によるスケッチを行います。

■デザイン制作

■トリック 3D アート画像処理

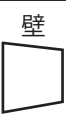

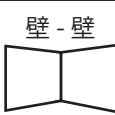

画像処理は仕様に応じて都度お見積もりいたします。

▶お客様からご支給していただく場合のデータの種類

1. 低密度パスデータ	描画ソフト「Illustrator」等で多用される「パス」を用いて描画、デザインされたデータの事です。加えて、シンプルなデザインのもの（文字のアウトラインのみ、パスを多用していない等）を指しています。代表的な拡張子は .ai があります。
2. 高密度パスデータ	描画ソフト「Illustrator」等で多用される「パス」を用いて描画、デザインされたデータの事です。加えて、デザインが複雑なもの（グラデーションを表現している、パスを多用している等）を指しています。代表的な拡張子は .ai があります。
3. ピクセルデータ	描画ソフト「Photoshop」等で多用される「ピクセル」を用いて描画、デザインされたデータの事です。代表的な拡張子は .psd,.jpg,.tga 等があります。

▶データの種類による見積もりタイプ一覧

一般的に高密度データやピクセルデータ、2面の画像処理になるほど料金は上がります。

	1面		2面	
				
低	低密度パスデータ		低密度パスデータ	
↓	高密度パスデータ		高密度パスデータ	
高	ピクセルデータ		ピクセルデータ	

低 → 高

※支給していただくパスデータは、「全てのデータ内容がパスで制作されたデータ」の事を言います。

一部にピクセルデータが使われている場合は、混合データとして別途料金が発生します。

具体的には、イラストレーターファイル（拡張子が .ai）は、ピクセルデータを含ませる事が出来るので、.ai であれば＝パスデータにはならず、混合データになります。

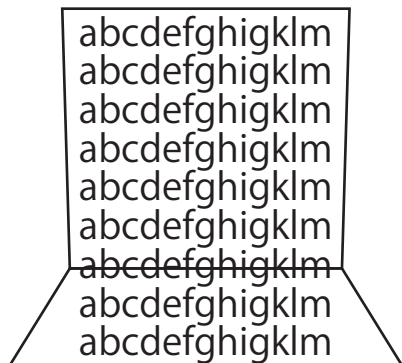
※トリック 3D アートは相対的に面積が大きいほうが料金は上がります。

※文字がアウトライン化されていない場合は、再度アウトライン化されたものを提出いただくか、別途料金が発生します。

■床面用のピクセルデータをご用意いただく場合

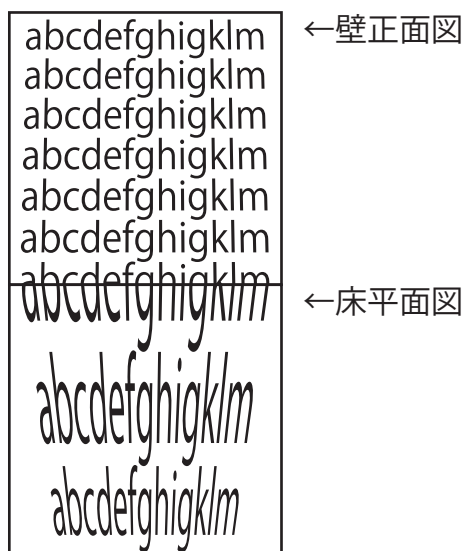
床面用のピクセルデータは、壁面よりも画像が大きく歪む場合がほとんどなので、大元の画像が高解像でないで荒れた画質で完成してしまう事になります。

○カメラアングル図



サンプルとして左図のようなトリック3Dアートが成立しているとします。同じフォントサイズ、書体の文字が9段並んでいます。壁面と床面のサイズは同じ正方形です。

○展開図



カメラアングルは俯瞰構図になっているので、壁正面の文字は微妙に上部に向けて台形状に変形しています。

カメラアングル位置から見える床面積は狭いので、文字は縦横に大きく伸び変形します。トリック3Dアートとして見える文字の大きさは同じなのに、真正面、真上から見た場合大きさは全く異なります。この変形にピクセル画像が対応する為には、非常に高解像度でなければ全体に対応出来ません。

※非常に高解像度のピクセル画像とは…

弊社ではスマートフォンでの撮影を考慮し、壁床共に2000×3000のサイズで製作している事例が一般的です。

上記サイズの1000dpiを基準にした場合、7874pix×11811pixの解像度の画像が必要になります。

特に床面はこの解像度に収まるように引き伸ばすため、ご支給していただく場合は7874pix×11811pix以上の解像度が望ましいサイズになります。